

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	7
事業名	塵芥処理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施 策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、個人が年4回、家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	町民 1 人あたりのごみ排出量	190	190	183	kg/年	↓	231	
	2	不法投棄件数	66	38	32	件/年	↓	↘	
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B				262, 833		288, 297		297, 730	
財源 内訳	直接事業費 A			258, 345		283, 809		293, 818	
	うち一般財源			223, 387		261, 942		269, 829	
人件費（千円） B				4, 488		4, 488		3, 912	
内訳	一般職員（人・千円）			0. 68	4488	0. 68	4488	0. 59	3894
	臨時職員（人・千円）				0	0	0	0. 01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	ごみの排出量削減や不法投棄減少のため、効果的なインセンティブの導入を検討する。	③取組の課題	ごみ収集運搬方法に課題がある。
②R5年度に実施した取り組み	一般廃棄物処理基本計画を改定した。その中において、現分別収集体制の満足度は高いことが確認できた。	④今後の改善計画	より安全なごみ収集方法を検討する。